

令和2年度事業・収支報告について（案）

令和3年3月19日

全国農業再生推進機構

I. 令和2年度事業報告

1. 実需者と産地とのマッチング支援

新型コロナウイルス感染症の再拡大という不測の状況をふまえ、農水省等と協議を重ねた結果、当初予定していた、マッチングフェアは、全国津々浦々の参加者を受け入れたうえで試食コーナーも設けるため、感染防止策を徹底してもなお、参加者の安全確保が難しく、感染リスクの抑制が困難であるという結論に至った。また、現地交流会についてもバス等で乗り合わせのうえ地方に行くという企画の性質上、感染防止策を徹底したところで、感染リスクの抑制が困難であり、このように技術的にオンライン化が困難な取り組みの実施を見送るという結論に至った。

本機構としては、コロナ禍の影響により、需給が緩和局面に直面していることや産地と実需者との間でミスマッチが生じている昨今の米にかかる情勢を鑑みれば業務用米等の安定取引に資する取り組みを行うべきであると考え、当初計画していた「業務用米マッチング商談会およびセミナー」を実開催からオンラインに開催方式を変更することとした。

(1) 「米マッチングフェア 2020」の開催（オンライン）

令和2年度米穀周年供給・需要拡大支援事業のうち業務用米、輸出用米等の安定取引拡大支援（以下、周年事業という）を活用し、生産者・JA等と広域で活動する実需者、地域で活動する実需者の双方を対象とした商談会・セミナーを次のとおり開催した。

<米マッチングフェア 2020 概要>

- ① 日時：令和2年9月2日（水） [第1回]
 令和3年2月2日（火） [第2回]
 令和3年2月9日（火） [第3回]
 令和3年2月16日（火） [第4回]

② 開催概要：

	令和2年9月2日 （水）	令和3年2月2日 （火）
商談会	出展団体：24団体 実需：24団体	出展団体：33団体 実需：1団体
セミナー	参加者：100名	参加者：80名

	令和3年2月9日 （火）	令和3年2月16日 （火）
商談会	出展団体：32団体 実需：22団体	出展団体：32団体 実需：25団体
セミナー	参加者：70名	参加者：60名

(2) 「お米マッチングフェア 2020」の開催（オンライン）

お米マイスターを通じた生産者・JA等と地域で活動する実需者とのパイプづくりを目的に、商談会・セミナーの取り組み（お米マッチングフェア 2020）を開催した。

	令和3年2月11日（木・祝日）～2月21日（日）
商談会	商談数：31件、サンプル取得商談：81件 ※商談は令和3年2月21日に実施。
セミナー	参加者：549名 ※令和3年2月11日（祝日）から2月21日（日）までの間、セミナー（事前撮影）の当マッチング事務局の一般財団法人日本米穀商連合会のホームページで閲覧者数。

(3) 主な成果と今後の課題

新型コロナウイルス感染症の再拡大という不測の状況により、急遽、オンライン開催としたが、マッチングフェア参加者数は1,000人超と、実開催と遜色ない盛況具合であった。

今後の課題としては、以下のことが挙げられる。

- ① オンラインセミナー等への参加に不慣れな者への対応
- ② 緩和している需給状況下での実需者の参加促進

2. 輸出事業者と産地とのマッチング支援

令和2年3月に閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」にて農林水産物・食品の輸出目標額の5兆円が掲げられたことをふまえ、「輸出米マッチングフェア2020」を以下のとおり開催した。

開催地	開催日	会場	講師候補者		
			時間	産地	実需者
			セミナー 商談会	講演テーマ	講演テーマ
仙台	12月9日 (水)	TKPガーデンシティ PREMIUM仙台西口	11:00 ~12:20	(株)黒澤ファーム 代表取締役 黒澤 信彦	(株)クボタ アグリソリューション推進担当部長 高橋 元
			13:00 ~15:50	生産者から見た海外の日本米市場	海外現地精米による 日本産米の需要拡大
新潟	12月11日 (金)	万代シルバーホテル	11:00 ~12:20	京都祐喜株式会社 代表取締役 香山 喜典	農林水産省 中国向け日本食輸出促進アドバイザー 羽子田 礼秀
			13:00 ~15:50	いま、京都与謝野町の 米と田んぼが面白い	中国への日本産米 輸出・販売について
金沢	12月14日 (月)	TKPガーデンシティ PREMIUM金沢駅西口	11:00 ~12:20	ぎふ農業協同組合 米穀課 次長 林 秀治	(株)イワイ 代表取締役 岩井 健次
			13:00 ~15:50	スマート農業で挑戦! 低コスト輸出用米	「おむすび」世界を変える
福岡	12月16日 (水)	TKPガーデンシティ博多	11:00 ~12:20	(有)ソメノグリーンファーム代表取締役 (兼 百笑市場代表取締役) 染野 実	(株)百笑市場 長谷川 有朋
			13:00 ~15:50	生産者が取り組む 日本産米の海外市場開拓	生産者が取り組む 日本産米の海外市場開拓
大阪	12月18日 (金)	TKPガーデンシティ 大阪リバーサイド	11:00 ~12:20	たじま農業協同組合 米穀課 塩見 真仁	千田みずほ株式会社 執行役員部長 陰山 貞三
			13:00 ~15:50	コウノトリ育むお米の ローカル&グローバルな取組み	米の輸出から食の輸出へ

	令和2年12月9日(水)	令和2年12月11日(金)
商談会	出展団体：4団体 参加団体：5団体	出展団体：5団体 参加団体：3団体
セミナー	当日参加者：73名	当日参加者：46名

	令和2年12月14日(月)	令和2年12月16日(水)	令和2年12月18日(金)
商談会	出展団体：5団体 参加団体：7団体	出展団体：5団体 参加団体：5団体	出展団体：5団体 参加団体：6団体
セミナー	参加者：49名	参加者：43名	参加者：51名

※セミナー終了後、セミナーの動画をHP (<https://export-rice.net/>) に掲載し、約500回の視聴されている。

3. 情報共有および主体的な取組の促進

全国農業再生推進機構のホームページにより、催事や米消費拡大に関する情報を共有することにより、需要に応じた取組みにむけた取組みの促進を図った。

【全国農業再生推進機構ホームページ】

告知



The banner consists of three panels. The left panel features the text 'Rice Matching Presentation' and the slogan '“売りたい米”と“買いたい米”。相互のニーズをマッチング。' (Rice we want to sell and rice we want to buy. Matching mutual needs). The middle panel shows a bowl of rice with the text '米マッチングフェア' (Rice Matching Fair). The right panel features the text '輸出米 マッチングフェア 2020' (Export Rice Matching Fair 2020).

米消費拡大

[農林水産省：米の消費拡大情報サイト「やっぱりごはんでしょ！」>>>](#)

4. 会員間の情報交換・意見交換

JA 全中が主催する「需要に応じた米の生産・販売に向けたシンポジウム」の後援の是非や会員団体の登壇含めて、生産サイドと実需サイドの双方にとって有益となるよう幹事団体と意見交換を行った。

なお、シンポジウムについては、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

II. 令和2年度収支報告

令和2年度収支については、農水省から補助金 109,974,880 円の交付決定通知を受けたものの、コロナ禍の影響をふまえ、上記のとおり、マッチングフェアを実開催からオンライン開催に切り替えたことに伴い、会場費や施工費等が大幅に圧縮でき、農水省に計画変更の届が必要な事由に該当したことから、期中に農水省に対して補助事業予算の変更申請を行い、承認を受けた。

このため、2年度については、農水省に変更申請をしたうえで事業を実施した。事業完了後、事業実施にかかる精算額 73,308,073 円を、農水省に対し請求する。当請求に対する農水省からの確定通知を受領し次第、会員に対して改めて事務連絡文書を送付することとする。

なお、事務局にかかる人員・諸経費については、事務局を担当するJA全中にて対応した。

補助金収入見込み 73,308,073 円	補助金支出 73,308,073 円
事業収入 0 円	事業支出 0 円
計 73,308,073 円	計 73,308,073 円

※全国農業再生推進機構の収入は補助金収入（特定収入）のみである。

以 上